

令和6年1月9日

決意も新たに三学期

南九州市立霜出小学校
校長 石川 雅実

三学期は本年度のまとめの学期です。そして、進学、進級と新年度に向けての準備の学期でもあります。令和6年度の0学期とも言えます。三学期始業式に当たり、子どもたち一人ひとりは、新年の目標や計画を立てて登校したはずですが。それぞれの目標実現に向けて、今後も努力を続けてほしいと思います。

努力の継続と言葉にするのは簡単なことですが、人間はそんなに強い存在ではありません。誰かの支えが必要です。時には挫折を味わい、目標変更を余儀なくされます。そんなときに、子どもに寄り添い、必要な支援や指導を行う大人の存在が欠かせません。教職員や保護者、地域の方々、大人と呼ばれる人々の連携とサポートが必要不可欠です。

学校と家庭、地域の三者が一体となって、子どもたちのよりよき成長のために今後も深く関わって参りましょう。それぞれの立場で何ができるかを常に考え、未来を見据えた教育活動の展開と改善に向けて鋭意努力して参りましょう。

3学期も「子どもたちのために」を合い言葉（愛言葉）に、変わらぬ御支援、御協力をよろしくお願いします。

令和6年1月9日

向かい風に舞う凼のように

南九州市立霜出小学校
校長 石川 雅実

元日の能登地震では多くの方々が犠牲になり、甚大な被害が出ています。私の親戚や友人たちは幸い安否確認ができ、一安心しましたが、未だに避難所での生活を余儀なくされている友人もいます。この震災で尊い命を奪われた方々の御冥福と被災された方々の一日も早い日常の回復を御祈念申し上げます。

元日以来、生かされている命、自身の生き方やあり方について深く考える日々が続いています。被災者の方々のために何ができるのか、どのような励ましの言葉をかければよいのか、答えを見つけることができません。ただ、被災者の心情に寄り添い、必要な支援について、自分にできることは何かを考え、実践していきたいと思います。

ある公園で凼あげを楽しむ親子連れを見かけました。高く舞い上がる凼に親子の歓声が響きました。凼は逆風に向かって高く舞い上がります。被災者の方々にも、舞い上がる凼のように明日への希望を高く持ち続けてほしいと心より願いました。

令和6年1月15日

受験シーズンに思う

南九州市立霜出小学校
校長 石川 雅実

いよいよ受験シーズンが始まりました。

学力の保障については学校教育の最大の使命です。それを果たすために、学校では校内や校外での様々な研修に先生方が励んでいます。しかし、それだけでは不十分です。子どもたち一人ひとりの日々の取組や家庭学習の見届け等も必要です。

確かな学力を身に付けるということは、自身の夢や希望、進路や職業選択等の幅を広げ、無限の可能性にもつながります。また、先行き不透明な不確かな時代を生き抜く力にもなると思います。

計測可能な学力だけではなく、学習への興味関心やそれに向かう力、豊かな人間性、たくましい体や気力の育成も大切です。いわゆる知・徳・体といった総体的な力を自ら主体的に育む力を小学生段階から育成していきたいものです。

学校、家庭、地域社会が一体となって充実した教育活動を推進するということは、それに関与した人々をも向上させ、ひいてはよりよい社会を創造する力にもつながると思います。